

地域金融推進レポート'20

～地域密着型金融の推進により

コロナ禍を克服した先の「選ばれる青森県」の実現へ向けて～

令和3年2月

青森県

「地域金融推進レポート'20」の発行にあたって

県では、平成20年（2008年）1月に「今後の県内中小企業金融円滑化に向けた総合対策プラン」を策定し、以降、関係機関の連携による地域密着型金融の推進等に取り組んできました。

また、その推進状況を評価するため、毎年度、県内中小企業等へのアンケート調査結果を基にしたリレバン・レポートを作成し、中小企業と金融機関の相互理解の状況等を把握するとともに、関係機関の取組の改善等に役立ててきています。

平成30年度（2018年度）以降は「青森県地域密着型金融推進プラン2018改訂版」（期間：2018年度～2022年度）で定めた基本方針に基づいて、引き続き取組を進めているところです。

「地域金融推進レポート'20」では、これまで継続して調査を行ってきた事項に加え、新型コロナウイルス感染症関連融資について取り上げています。

本レポートが県内中小企業金融の円滑化の一助となれば幸いです。

最後に、コロナ禍の中、アンケート調査に御協力いただいた中小企業者の皆様、並びに調査票のとりまとめに御尽力いただいた商工団体を始めとする関係者にお礼申し上げます、作成にあたっての御挨拶といたします。

令和3年（2021年）2月

青森県商工労働部長 相馬 雄幸

地域密着型金融とは

地域密着型金融とは、「**金融機関が顧客との間で親密な関係を長く維持することにより顧客に関する情報を蓄積し、この情報を基に貸出金等の金融サービスの提供を行うことで展開するビジネスモデル**（平成15年3月27日金融審議会報告）」である。

その本質は・・・

長期的な取引関係により得られた情報を基に、質の高い対面交渉等を通じて、早い時点で経営改善に取り組むとともに、中小企業金融における貸出機能を強化することにより、金融機関（メインバンク）自身の収益向上を図ること。

目次

I アンケート調査の概要	1
II 金融機関（メインバンク）に対する中小企業の満足度	2
1 総合満足度	
2 個別項目別満足度	
III 中小企業の資金調達の現状	6
1 融資や条件変更の謝絶経験割合	
2 謝絶理由	
3 謝絶時における金融機関（メインバンク）からのフォローの状況	
IV 中小企業と金融機関（メインバンク）の相互理解促進への取組状況等	9
1 金融機関（メインバンク）に対する中小企業の情報提供の状況	
2 試算表・資金繰り表・事業計画の作成状況	
3 中小企業の事業内容に対する金融機関（メインバンク）の理解度	
4 “金融機関（メインバンク）の理解度”と“個別項目別満足度”との関係	
V 新型コロナウイルス感染症関連融資について	17
1 新型コロナウイルス感染症に関連して、メインバンク等からのヒアリングや、情報提供の有無	
2 新型コロナウイルス感染症関連融資の利用状況について	
3 新型コロナウイルス感染症関連の融資手続について	
VI 地域密着型金融の推進によりコロナ禍を克服した先の「選ばれる青森県」の実現へ向けて	20
VII 金融機関における資金供給等の状況	21
1 金融機関における資金供給の現状	
2 金融機関における多様な資金供給の状況	
3 経営改善支援の取組	
4 セミナー・研修会・勉強会等の開催	
5 ビジネスマッチング支援	
6 人材育成の取組	
7 県内金融機関・商工団体等における特徴的な取組	

I アンケート調査の概要

調査対象

県内に事業所を有する中小企業（個人・法人） 2,051件

調査方法

県内各商工会議所・商工会、青森県中小企業団体中央会、その他業界団体の協力による調査票の配布・回収

調査時期

令和2年10月1日～令和2年11月27日

回答率

1,535件／2,051件（74.8%）

業種別	建設業:345件、製造業:134件、卸売業:105件、小売業:426件、運送業:33件、不動産業:19件、サービス業:440件、その他:25件、無回答:17件（一部重複回答有り）
経営形態別	個人:783件、法人:736件、無回答:16件
従業員数別	0人:277件、1～5人:828件、6～20人:261件、21～50人:93件、51～100人:39件、101人以上:26件、無回答:11件
業績別	上向き:108件、横ばい:602件、下向き 804件、無回答:21件
所在地域別	東青地域:291件、中南地域:207件、三八地域:258件、西北地域:253件、上北地域:405件、下北地域:121件
ライフステージ別	創業して5年以内:99件、成長段階:107件、安定期:630件、経営改善が必要:568件、抜本的な事業再生が必要:100件、無回答:31件
年商別	1,000万円未満:351件、1,000万円以上3000万円未満:446件、3,000万円以上5,000万円未満:185件、5,000万円以上1億円未満:206件、1億円以上:329件、無回答:18件
借入残高	ある:900、ない:630、無回答:5件

II 金融機関（メインバンク）に対する中小企業の満足度

1 総合満足度

アンケートの回答（「大変満足」「かなり満足」「まあ満足」「普通」「やや不満」「かなり不満」「大変不満」）を点数化したもの。

- 金融機関（メインバンク）に対する中小企業の総合満足度は**67.8点**で、昨年度（67.5点）と比較して0.3点上回った。
- 金融機関（メインバンク）からの「融資（残高）あり」と回答した中小企業の総合満足度は**70.7点**、「融資（残高）なし」と回答した中小企業では**63.7点**となった。

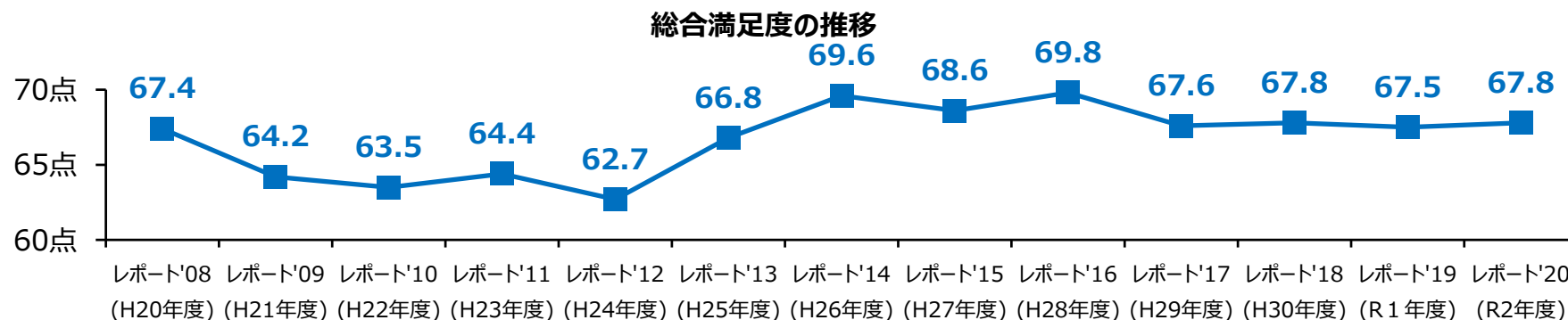
総合満足度 **67.8点**

(n=1,535, /有効回答数=1,529)

(昨年度 67.5点)

融資あり **70.7点** / 融資なし **63.7点**
(昨年度 70.4点) / 昨年度 63.9点)

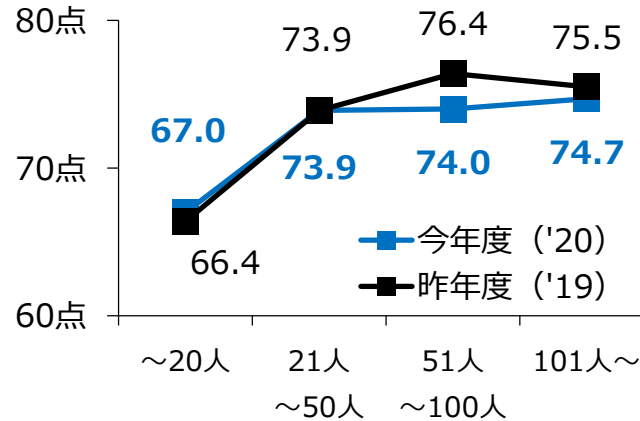
令和2年8月末現在における金融機関（メインバンク）からの融資（残高）の有無



総合満足度 (従業員規模別、業種別、業績別、ライフステージ別、年商別)

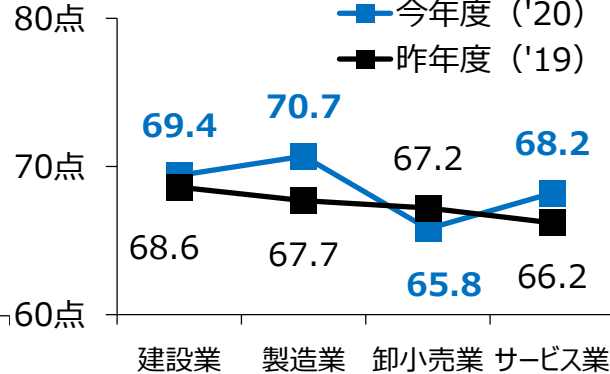
従業員規模別

(n=1,535/有効回答数=1,524)



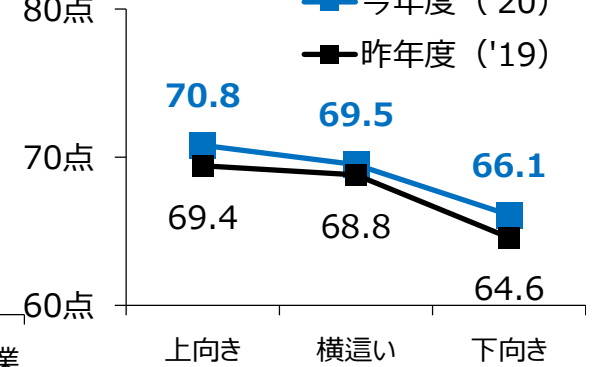
業種別

(n=1,535/有効回答数=1,518)



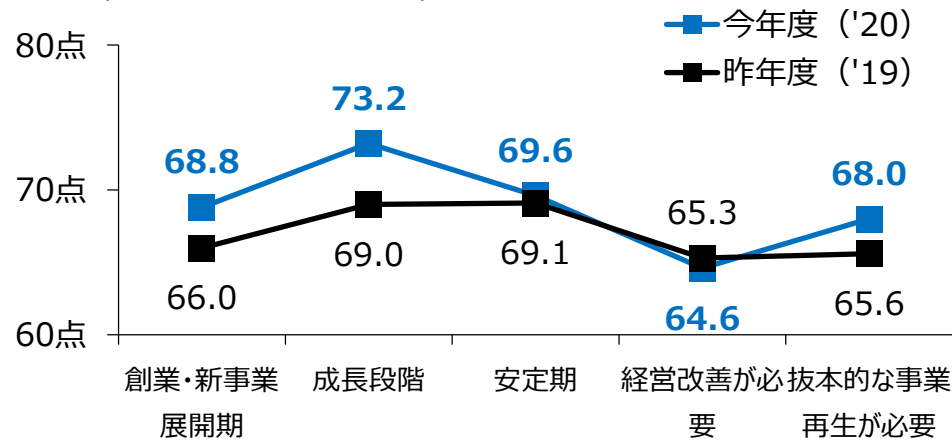
業績別

(n=1,535/有効回答数=1,514)



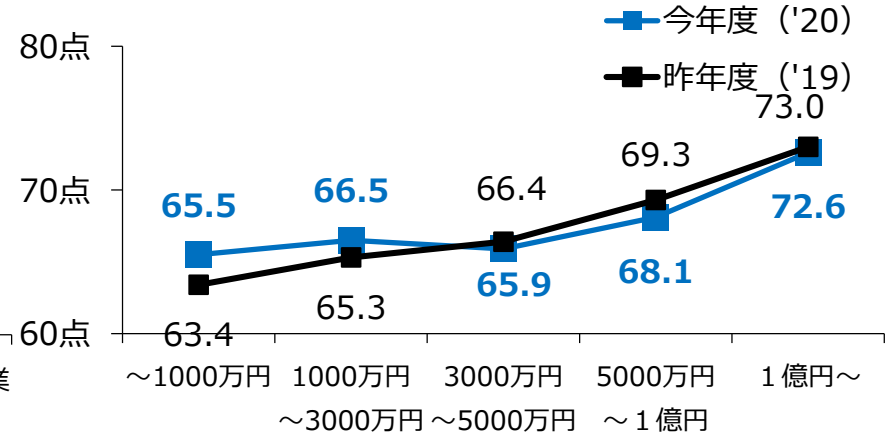
ライフステージ別

(n=1,535/有効回答数=1,504)



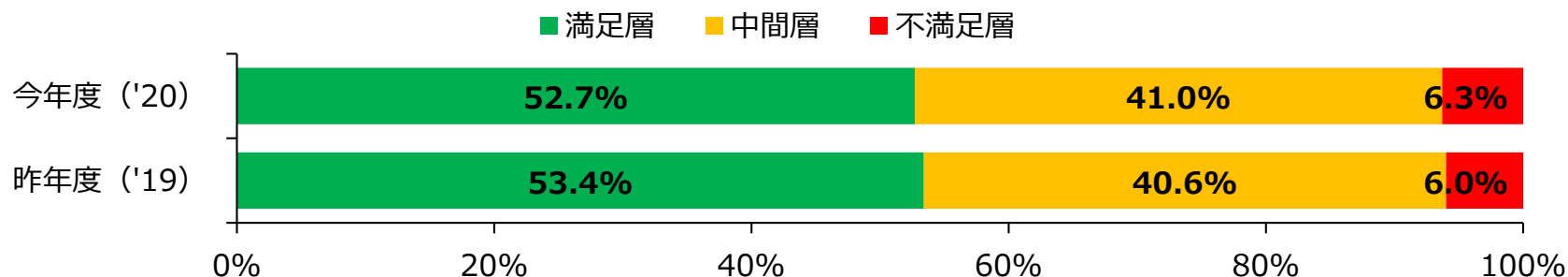
年商別

(n=1,535/有効回答数=1,517)



- 「満足層」、「中間層」、「不満足層」の構成割合は、「満足層」が減少、「中間層」と「不満足層」が増加した。

「満足層」、「中間層」、「不満足層」の構成割合 (n=1,535/有効回答数=1,529)



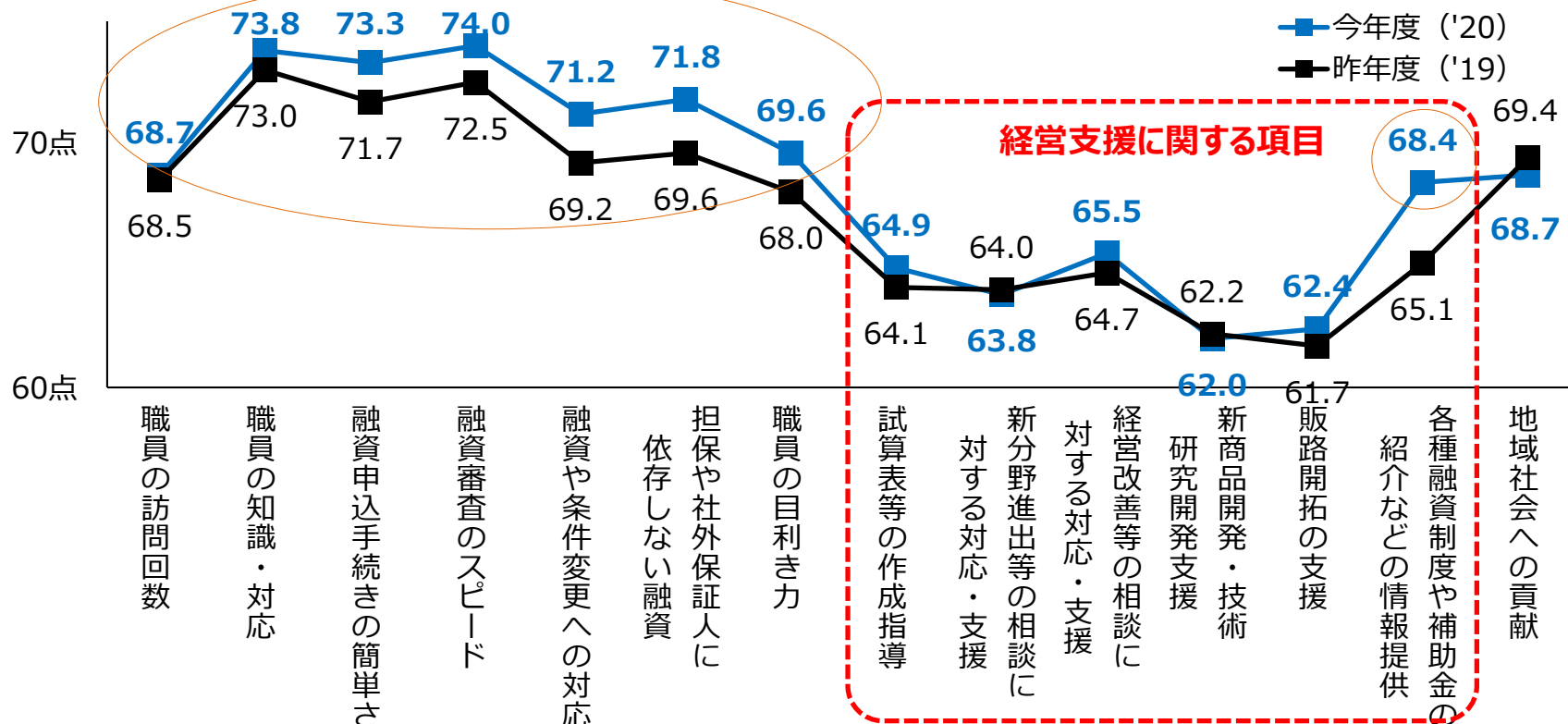
「満足層」、「中間層」、「不満足層」とは
総合的な満足度 回答選択肢

1 大変満足	} 満足層	サンプル数 806 (構成比 52.7%)
2 かなり満足		
3 まあ満足		
4 普通	} 中間層	サンプル数 627 (構成比 41.0%)
5 やや不満		
6 かなり不満	} 不満足層	サンプル数 96 (構成比 6.3%)
7 大変不満		

2 個別項目別満足度

アンケートの回答（「満足」「まあ満足」「どちらともいえない」「やや不満」「不満」）を点数化したもの。

- 個別項目別満足度は、昨年度と比較して概ね上回った。特に融資関連項目と情報提供が上昇している。
- 過去の調査と同様に、経営支援に関する項目の満足度が、その他の項目に比べ低くなっている。



昨年度より融資に関連する項目の満足度が向上しており、さらに、経営支援に関する項目の中で、各種融資制度等の情報提供が向上していることから、新型コロナウイルス感染症の影響を受けている中小企業への適切な融資対応や積極的な情報提供を実施してきたことが窺える。

Ⅲ 中小企業の資金調達の現状

1 融資や条件変更の謝絶経験割合

- 「融資」又は「条件変更」を「謝絶された経験がある」と回答した中小企業の割合は**4.8%**で、昨年度（5.7%）と比較して低下した。
- 融資の謝絶経験割合は**4.4%**で、昨年度（5.1%）と比較して低下した。
- 条件変更（金利引下げ、支払猶予、返済期限延長等）の謝絶経験割合（3.7%）は、昨年度（3.5%）と比較して上昇した。

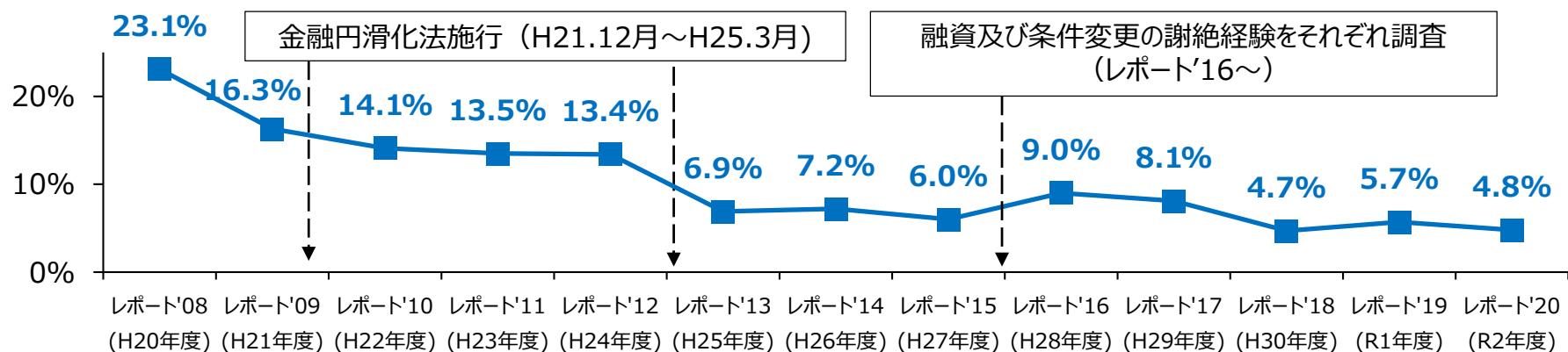
融資又は条件変更の
謝絶経験割合

(n=1,535、有効回答数:652)

4.8%
(昨年度 5.7%)

〔 融資 **4.4%** / 条件変更 **3.7%** 〕
(昨年度 5.1%) / (昨年度 3.5%)

融資又は条件変更を謝絶された割合の推移

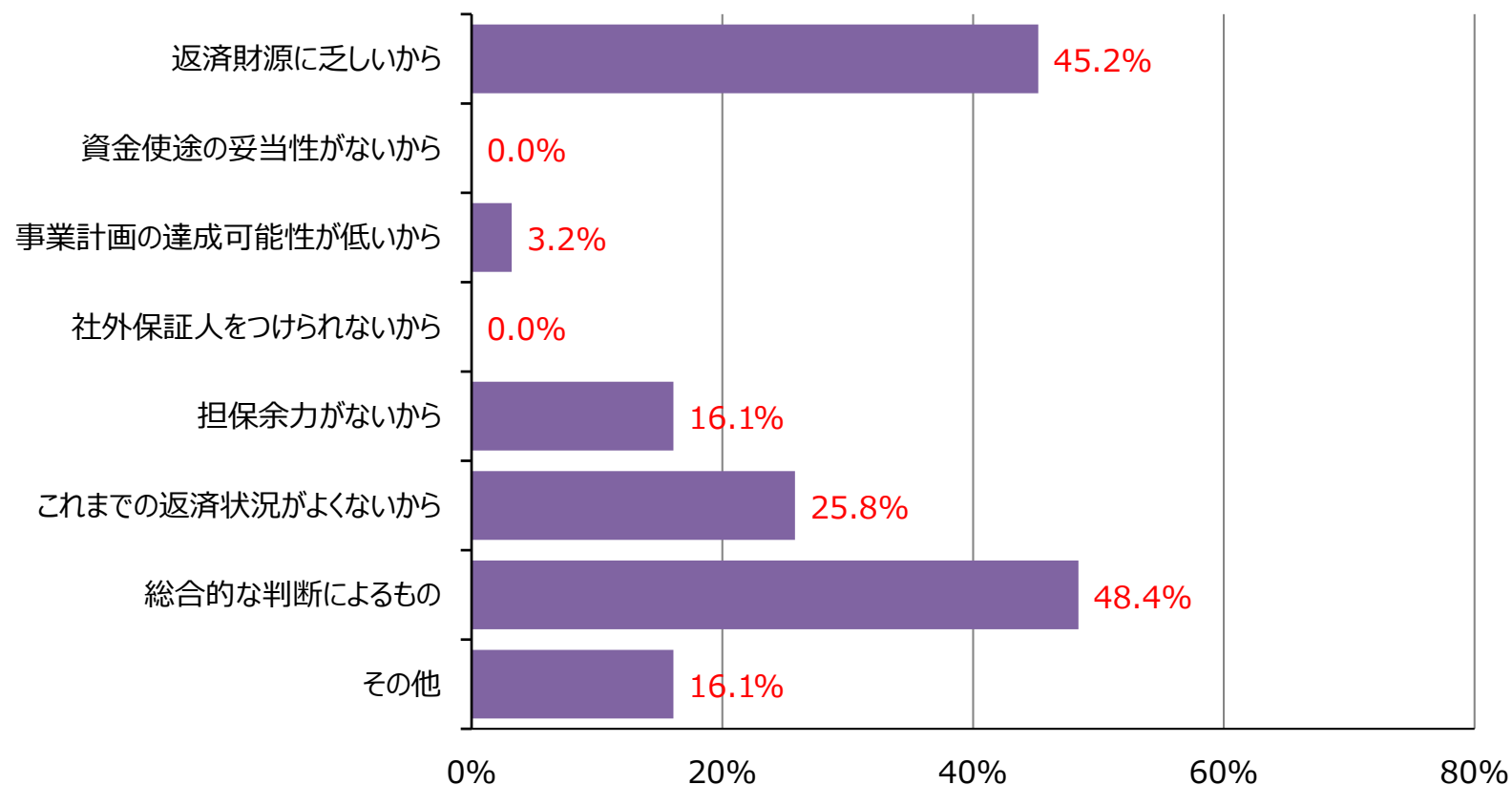


新型コロナウイルス感染症の影響が続く中、引き続き中小企業の金融円滑化が図られていることが窺える。

2 謝絶理由

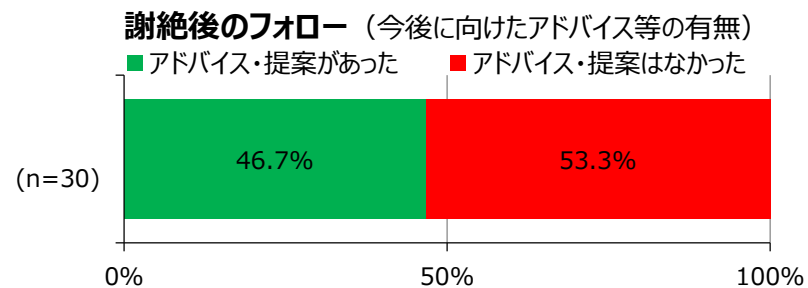
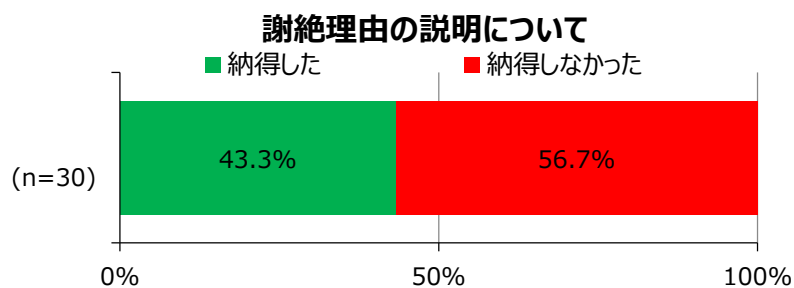
- 融資又は条件変更申込の謝絶理由は、「総合的な判断によるもの」が最多となり、次いで「返済財源に乏しいから」、「これまでの返済状況がよくないから」の順となった。

融資又は条件変更申込の謝絶理由（複数回答、n=31）



3 謝絶時における金融機関（メインバンク）からのフォローの状況

- 謝絶理由の説明に対して「納得した」と回答した中小企業は、融資又は条件変更申込の謝絶経験がある中小企業者の43.3%となった。
- 謝絶後のフォローについて「アドバイス等があった」と回答した中小企業は、46.7%となった。

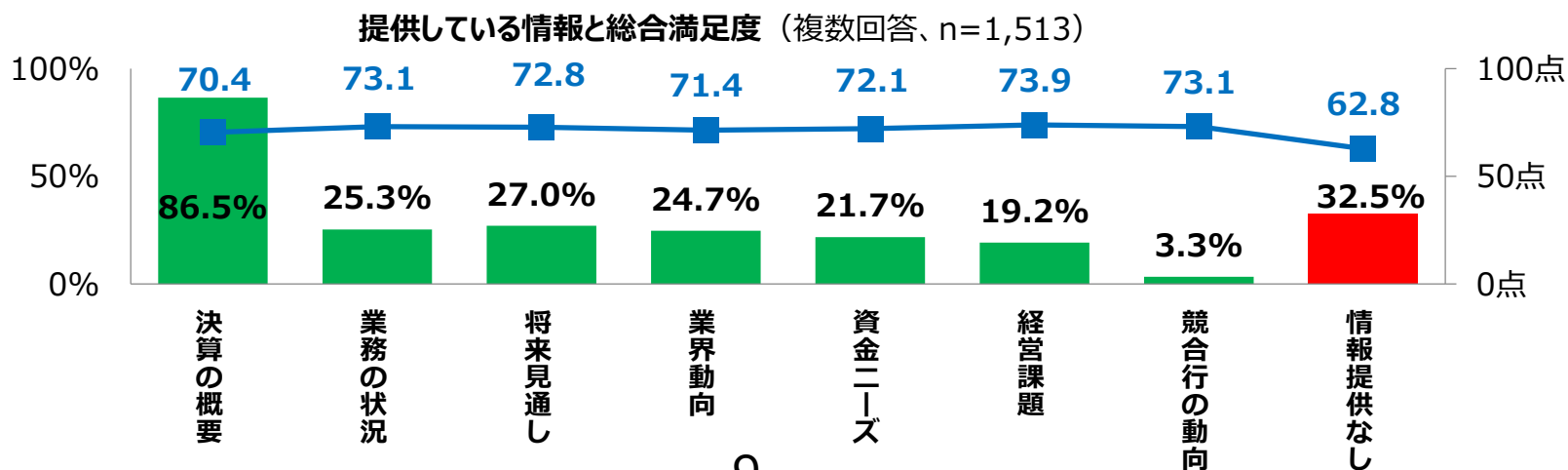
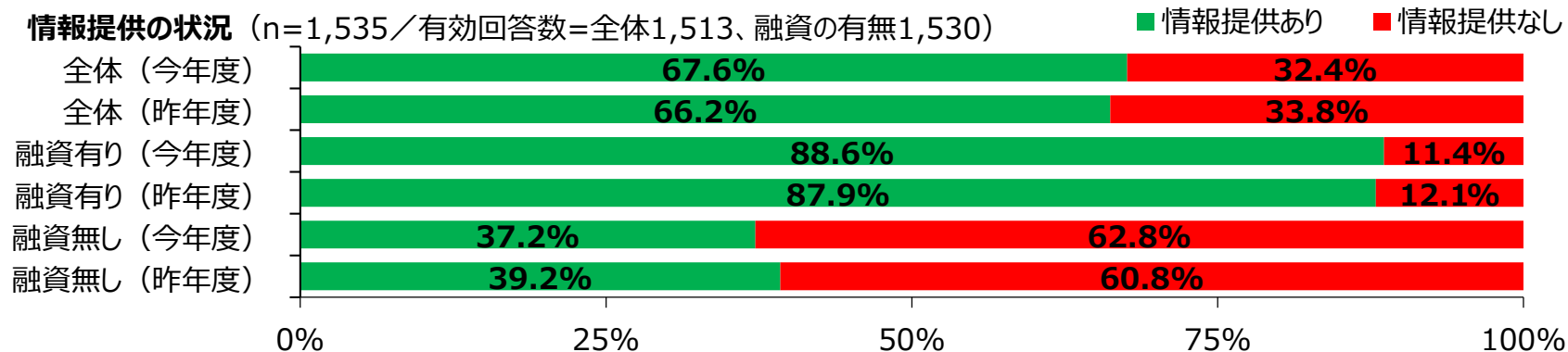


金融機関には、謝絶後において中小企業に対する丁寧なフォローが求められる。

IV 中小企業と金融機関（メインバンク）の相互理解促進への取組状況等

1 金融機関（メインバンク）に対する中小企業の情報提供の状況

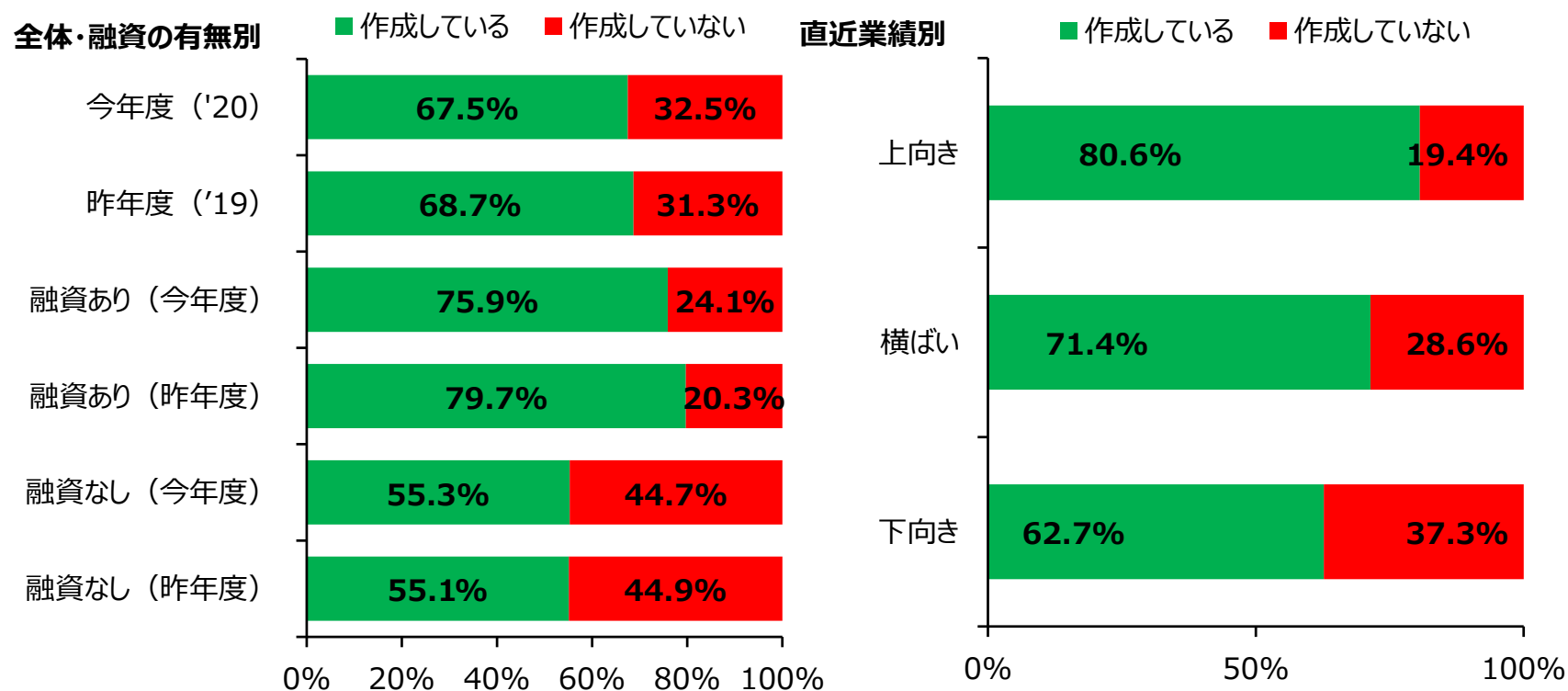
- 金融機関（メインバンク）に対し「情報を提供している」と回答した中小企業の割合は、全体の67.6%で、昨年度（昨年度66.2%）と比較して増加した。「融資あり」と回答した中小企業では88.6%（昨年度87.9%）となった。
- 何らかの情報提供を行っている中小企業の総合満足度が比較的高くなっている。



2 試算表・資金繰り表・事業計画の作成状況

- 「試算表」を「作成している」と回答した中小企業の割合は、全体の67.5%で、昨年度（68.7%）と比較して減少した。「融資あり」と回答した中小企業では、75.9%となり、昨年度（79.7%）と比較して減少した。
- 直近業績が良い企業ほど、作成割合が高かった。

試算表作成状況（n=1,535／有効回答数=全体1,521、融資の有無別1,517、直近業績別1,503）



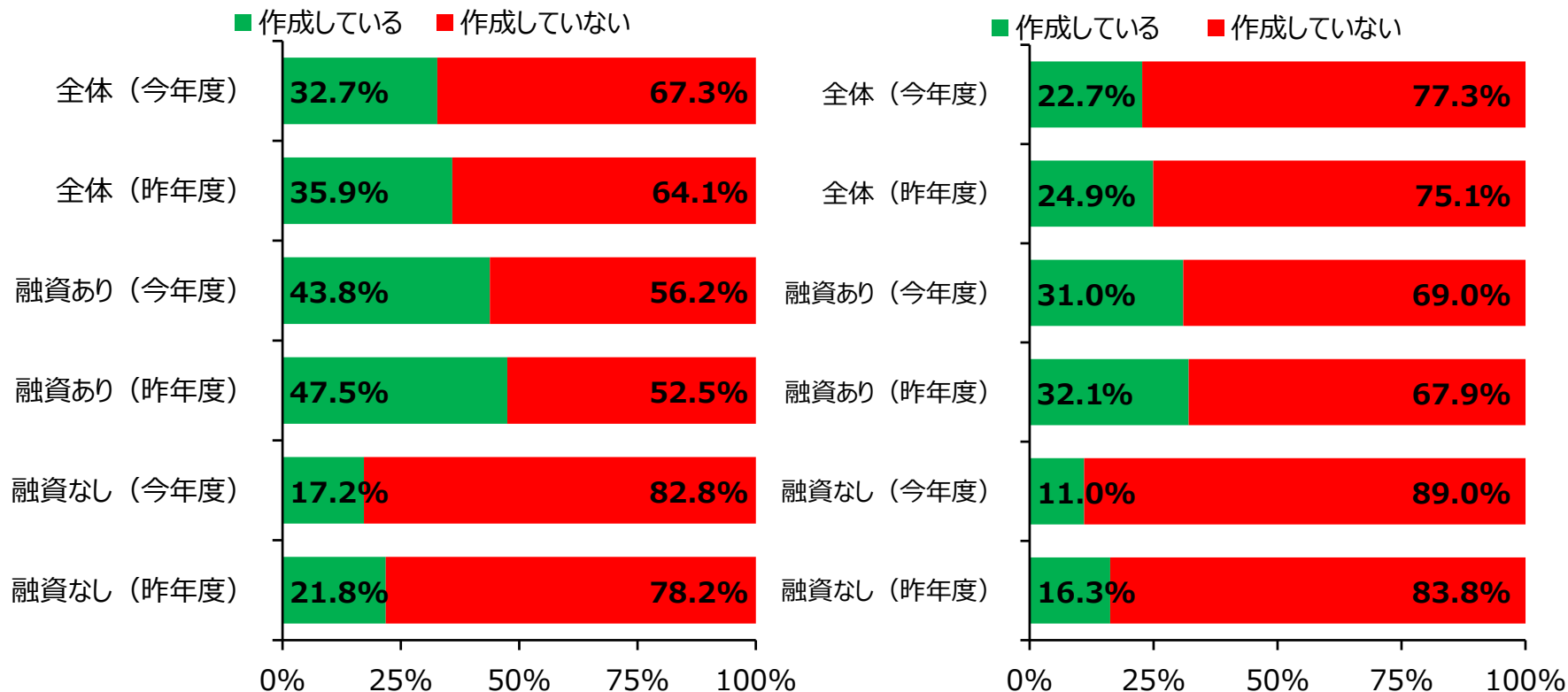
- 「資金繰り表」を「作成している」と回答した中小企業の割合は、全体の32.7%で、昨年度（35.9%）と比較して減少した。「融資あり」と回答した中小企業では43.8%（昨年度47.5%）となった。
- 「事業計画」を「作成している」と回答した中小企業の割合は、全体の22.7%で、昨年度（24.9%）と比較して減少した。「融資あり」と回答した中小企業では31.0%（昨年度32.1%）となった。

資金繰り表作成の有無

(n=1,535/有効回答数：全体1,483、融資の有無別1,480)

事業計画作成の有無

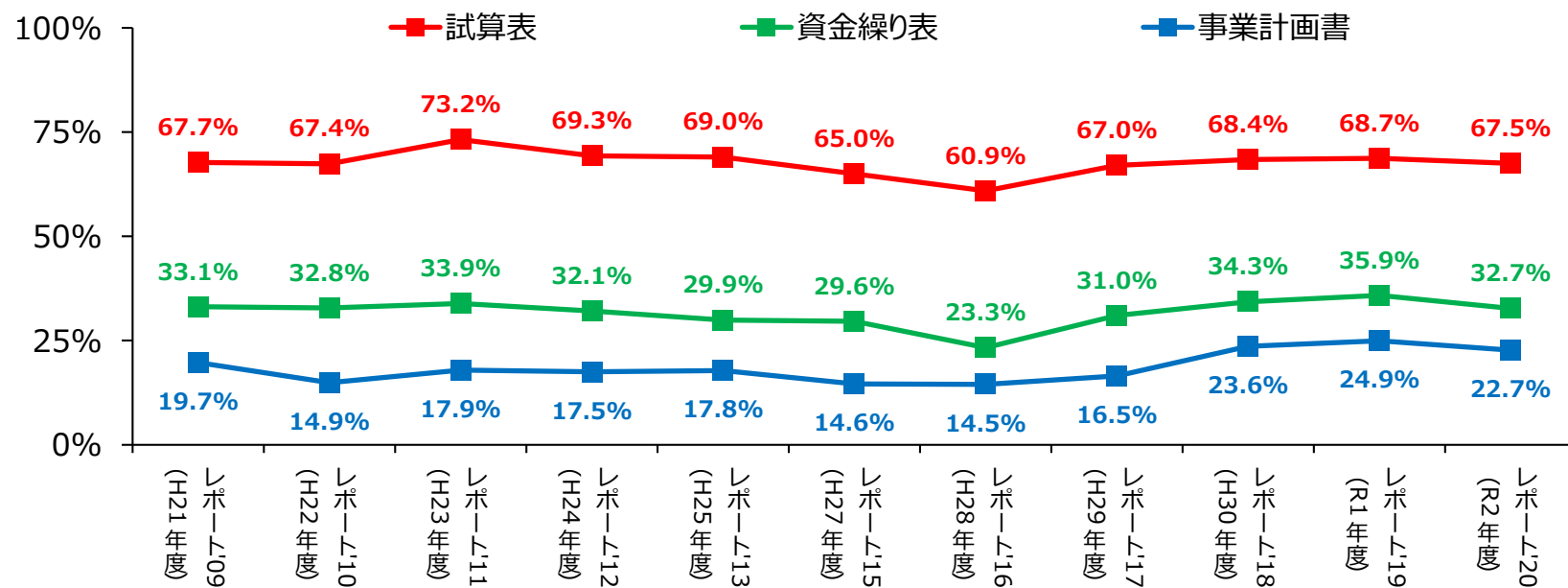
(n=1,535/有効回答数：全体1,481、融資の有無別1,477)



「試算表」「資金繰り表」「事業計画」の作成状況まとめ

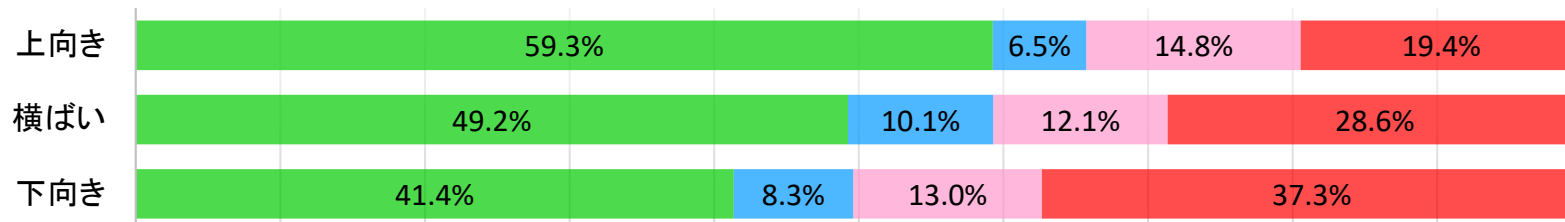
- 試算表、資金繰り表、事業計画書の作成割合はそれぞれ昨年度より減少した。

試算表等の作成状況の推移 ④レポート'14未調査

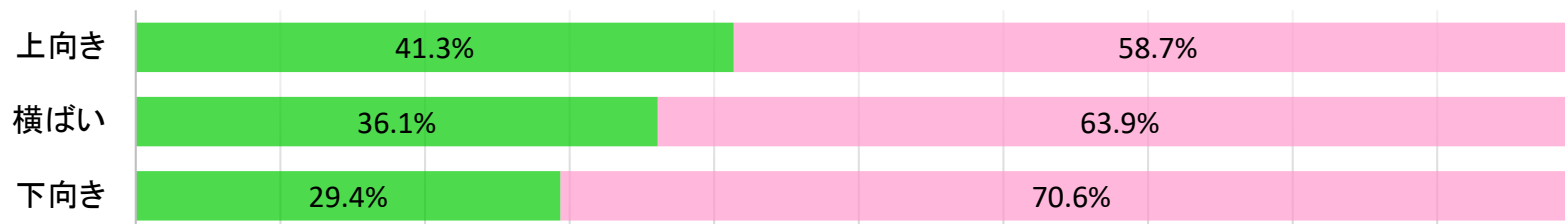


○ 業績が上向きな中小企業ほど試算表、資金繰り表、事業計画書の作成割合が高い。

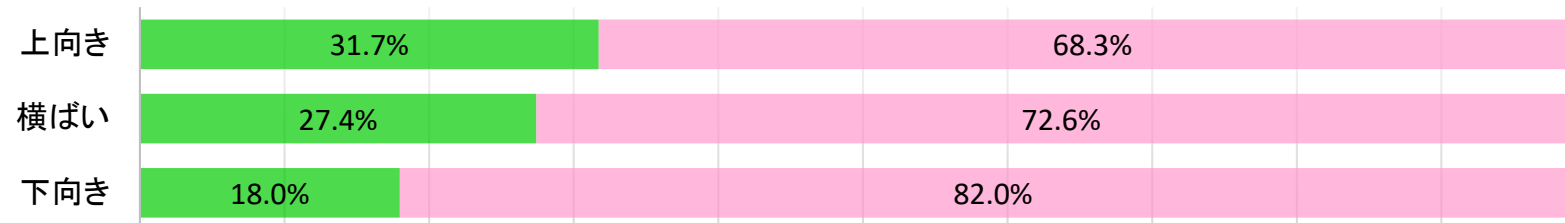
【業績毎の試算表作成の有無】 ■ 毎月 ■ 四半期毎 ■ 半期毎 ■ 作成していない



【業績毎の資金繰り表作成の有無】 ■ 作成 ■ 作成していない



【業績毎の事業計画作成の有無】 ■ 作成 ■ 作成していない



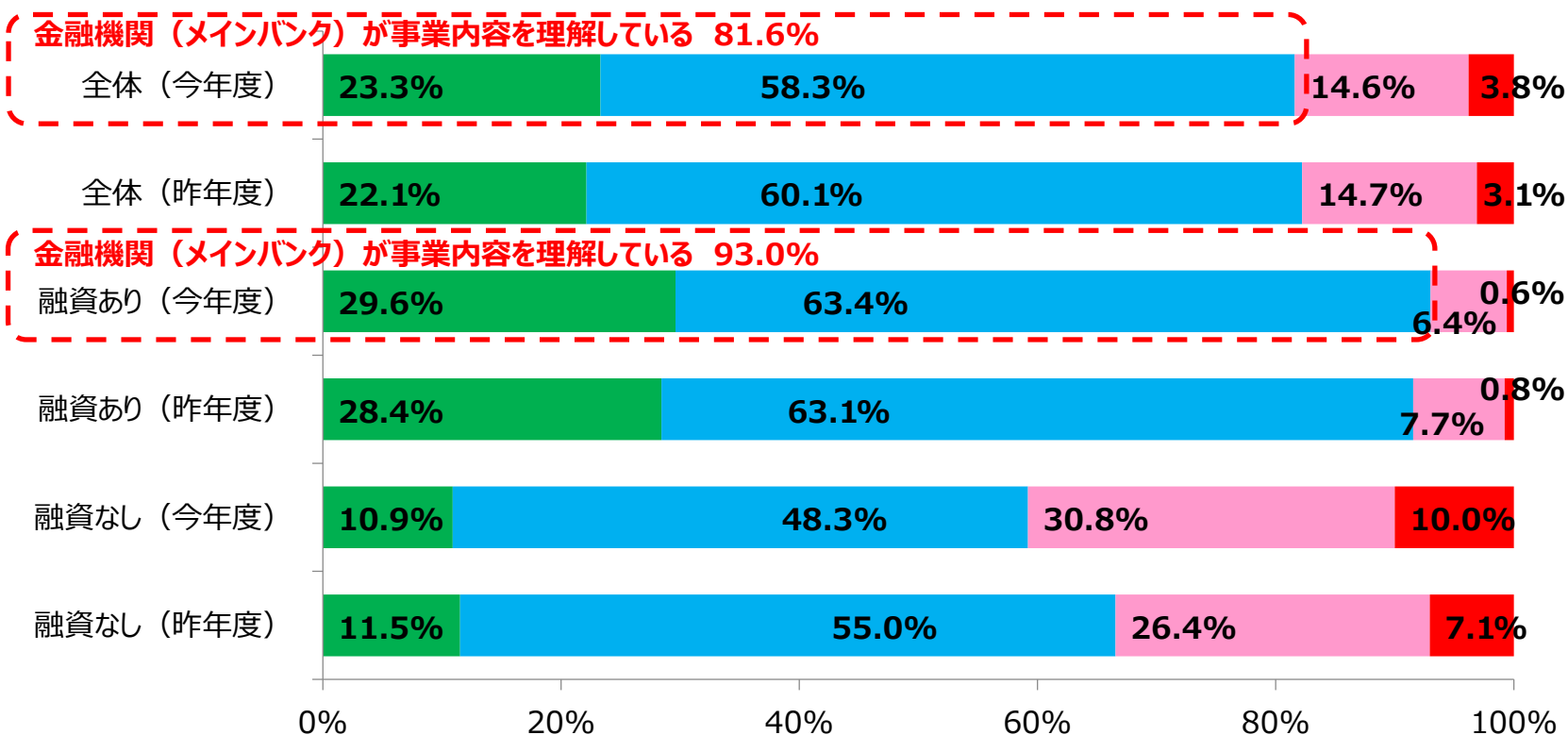
試算表、資金繰り表及び事業計画書の作成割合は、前回（昨年度）に比べ低下している。一方で、業績が上向きな企業ほど試算表等の作成割合が高い傾向にある。引き続き、試算表等の作成を事業者側に提案することや、作成支援を行うことが必要となる。

3 中小企業の事業内容に対する金融機関（メインバンク）の理解度

- 自社の事業内容を金融機関（メインバンク）が理解している（「明確に理解している」+「ある程度理解している」）と回答した中小企業の割合は、全体の81.6%で、昨年度（82.2%）と比較して減少した。
- 「融資（残高）あり」と回答した中小企業では93.0%で、昨年度（91.5%）と比較して増加した。

事業内容の理解度（n=1,535／有効回答数：全体1,308、融資の有無別1,304、「わからない」を除き集計）

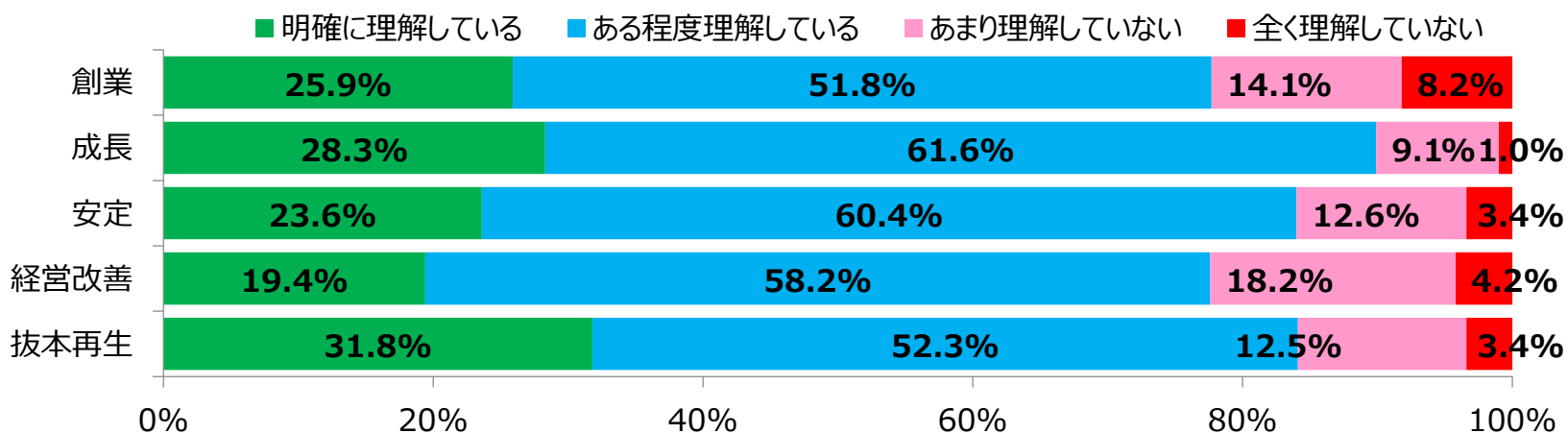
■ 明確に理解している ■ ある程度理解している ■ あまり理解していない ■ 全く理解していない



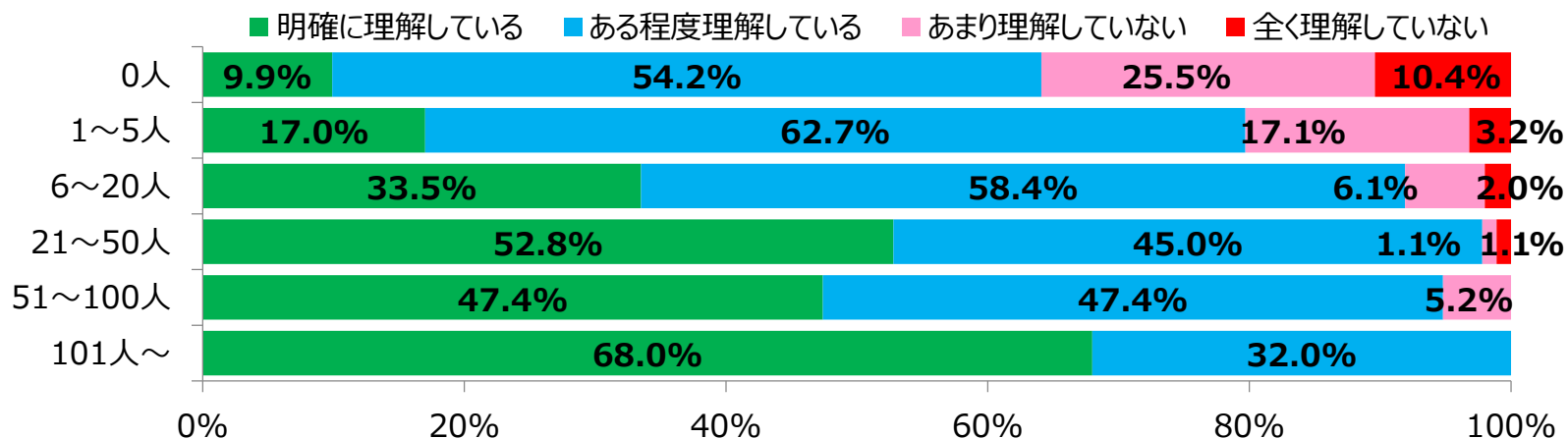
- ライフステージ別では、自社の事業内容を金融機関（メインバンク）が理解している（「理解している」+「ある程度理解している」）と回答した中小企業の割合は成長期の企業が最も高くなっている。また、企業規模別では、規模が大きい程、理解していると回答した中小企業の割合が高い傾向にある。

事業内容の理解度（n=1,535／有効回答数=ライフステージ別1,284、規模別=1,300、「わからない」を除き集計）

ライフステージ別



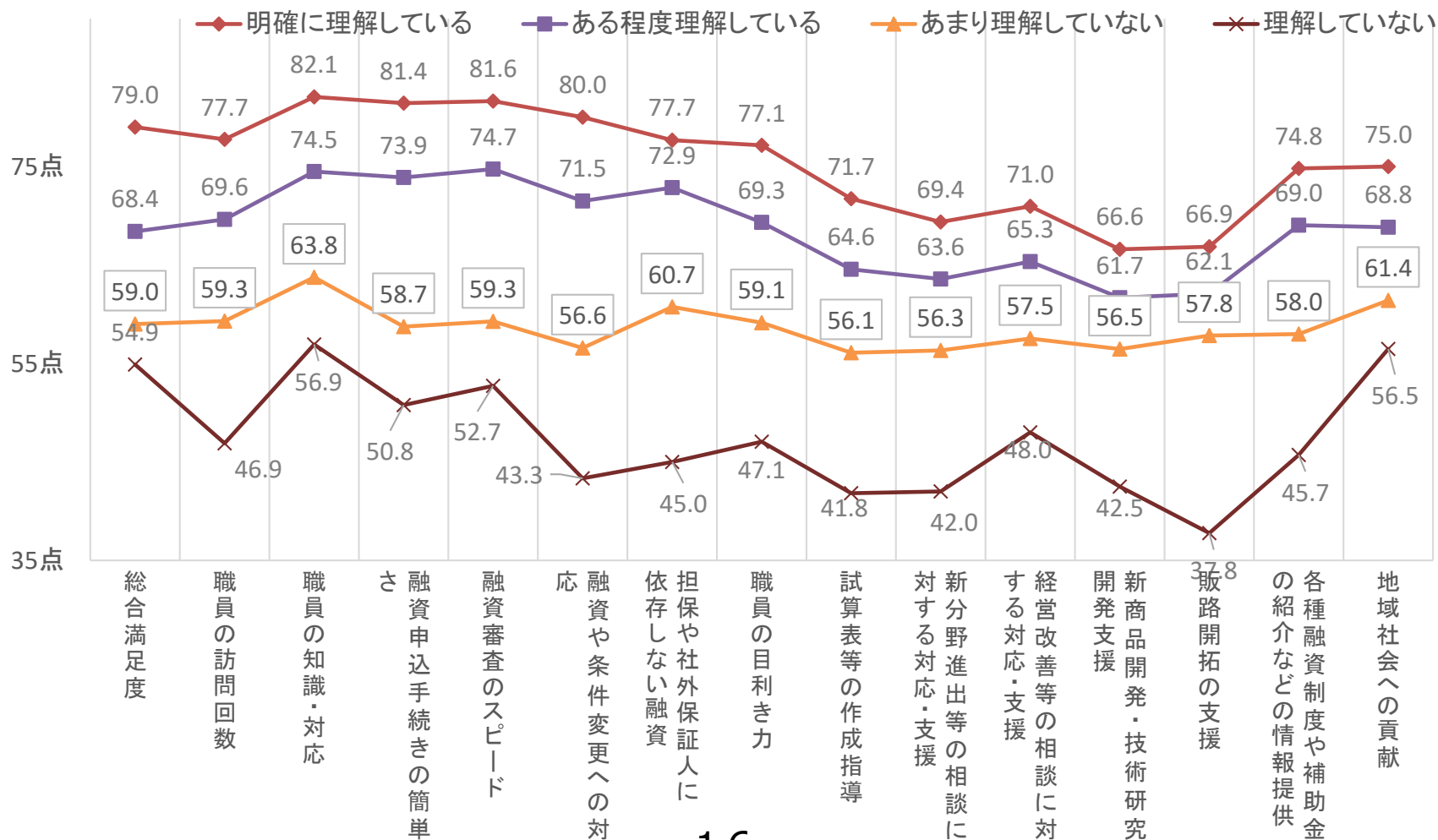
企業規模別



4 “金融機関（メインバンク）の理解度”と“個別項目別満足度”との関係

- 金融機関（メインバンク）が事業内容を理解していると回答した中小企業ほど、個別項目満足度が高くなっている。

「金融機関（メインバンク）の理解度」と「個別項目別満足度」の関係



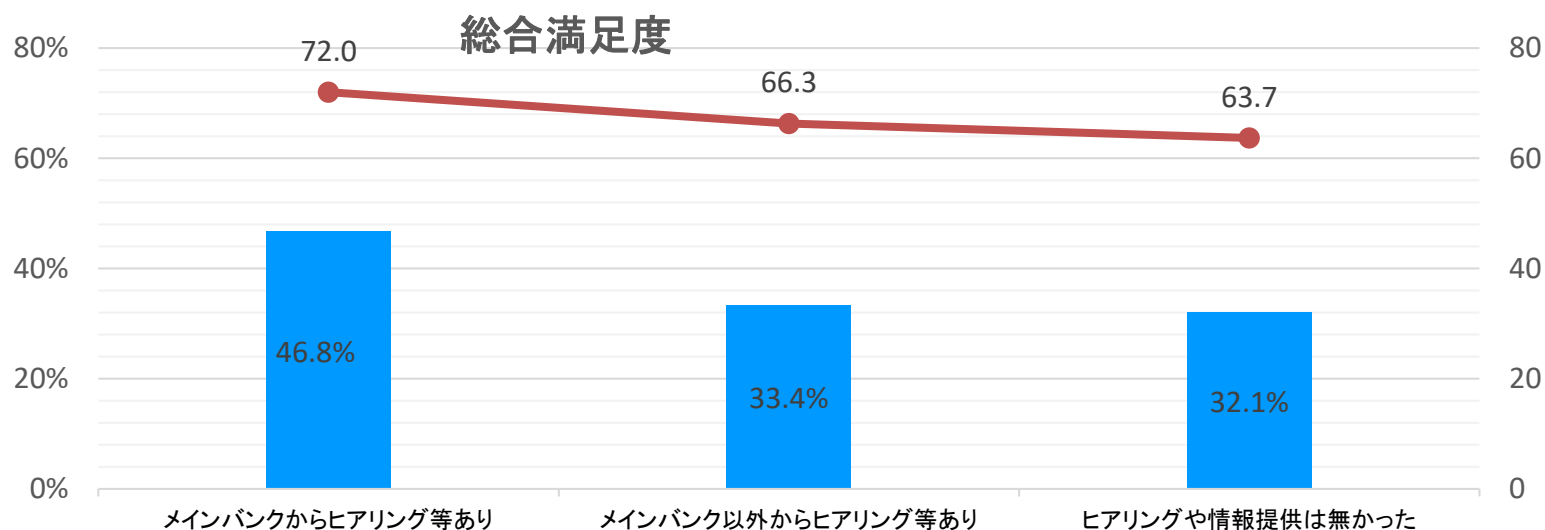
V 新型コロナウイルス感染症関連融資について

新型コロナウイルス感染症関連融資について、金融機関からの情報提供や融資の状況、関連する手続について回答結果をとりまとめた。

1 新型コロナウイルス感染症に関連して、メインバンク等からのヒアリングや、情報提供の有無

- メインバンクからのヒアリングや情報提供が最も多く46.8%、次いでメインバンク以外が33.4%となった。
- ヒアリングや情報提供があった中小企業の総合満足度が高い。

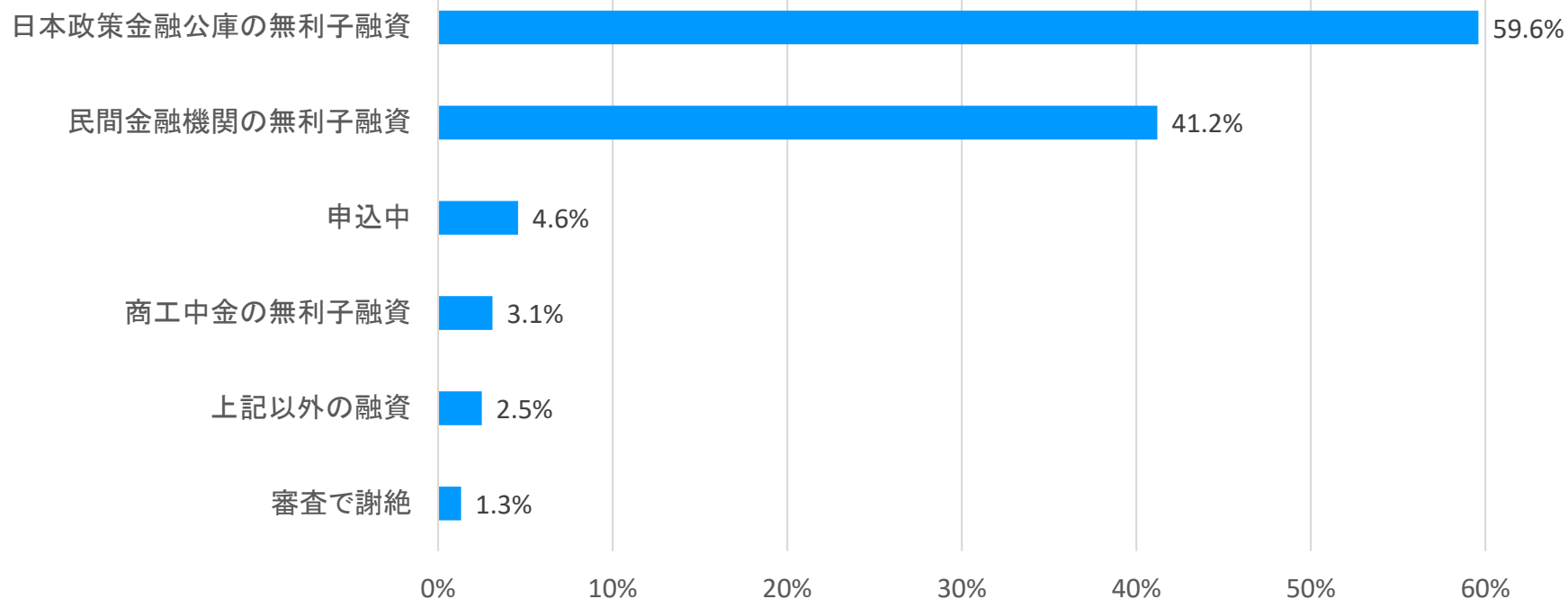
新型コロナウイルス感染症関連のヒアリングや情報提供等について（複数回答 n=1,513）



2 新型コロナウイルス感染症関連融資の利用状況について

- 新型コロナウイルス感染症関連融資の利用状況は、日本政策金融公庫の無利子融資が最も多く、59.6%、次いで民間金融機関の無利子融資41.2%となった。

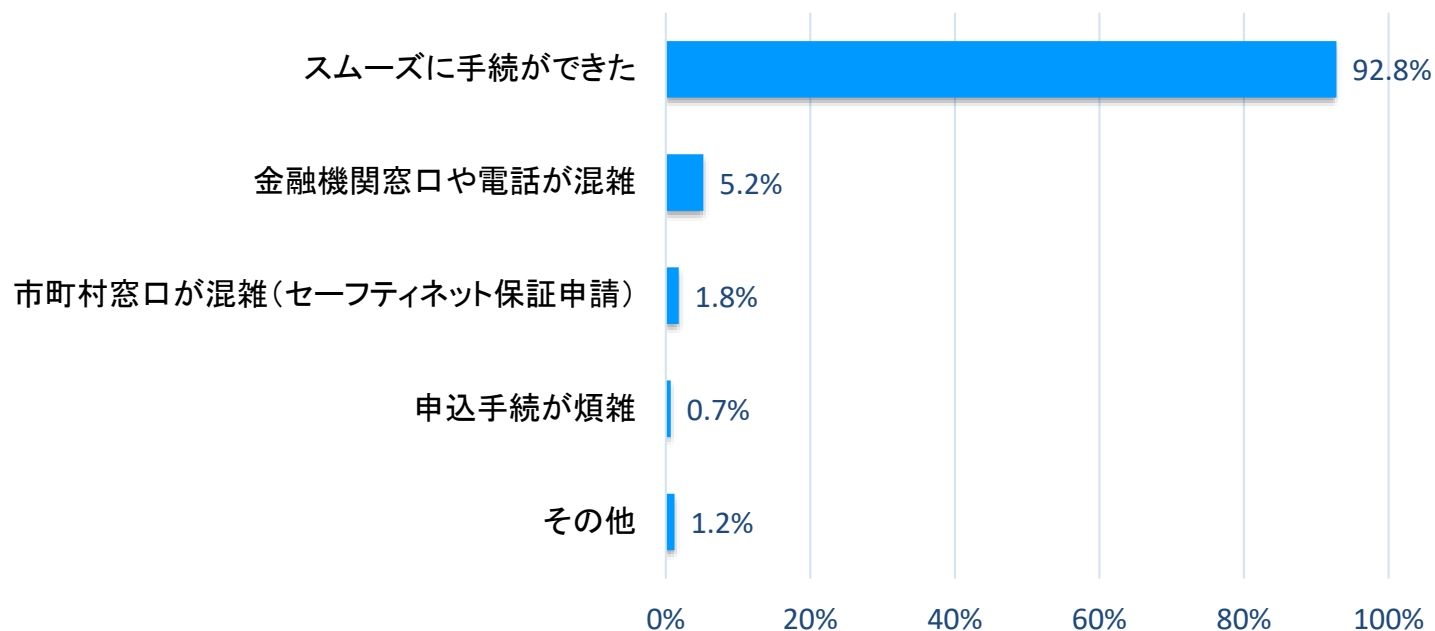
新型コロナウイルス感染症関連融資を受けたか（複数回答 n=609、「申し込んでいない」を除く）



3 新型コロナウイルス感染症関連の融資手続について

- 融資手続きについて、スムーズに手続ができたとの回答が92.8%となった。

融資手続きについて（複数回答 n=572）



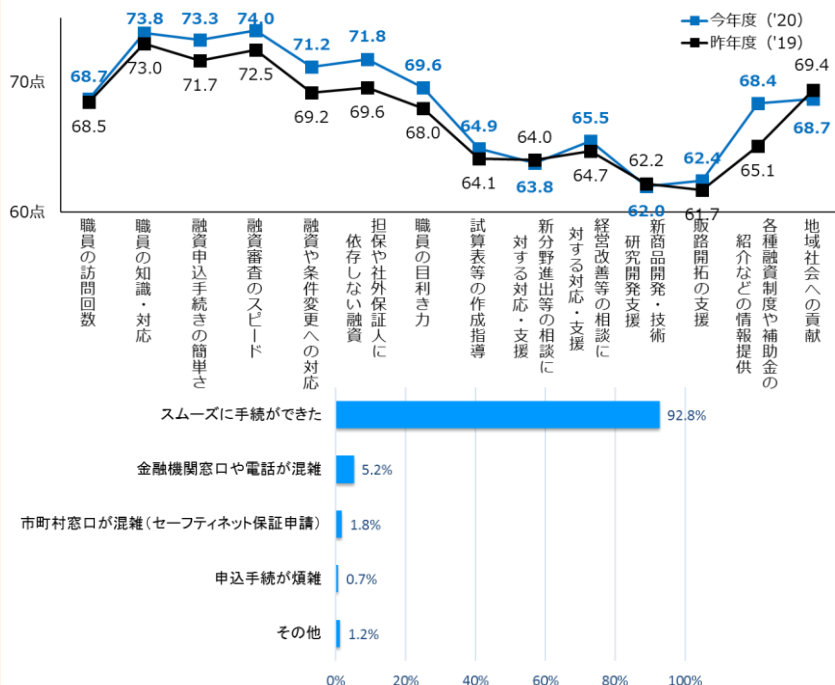
新型コロナウイルス感染症の融資手続については、無利子化融資など、申込件数が多い中であっても、金融機関や関係機関による対応がスムーズになされていることが窺える。

VI 地域密着型金融の推進によりコロナ禍を克服した先の「選ばれる青森県」の実現へ向けて

現状

新型コロナウイルス感染症の影響により、中小企業の資金繰りが厳しい中、積極的な支援が行われている。

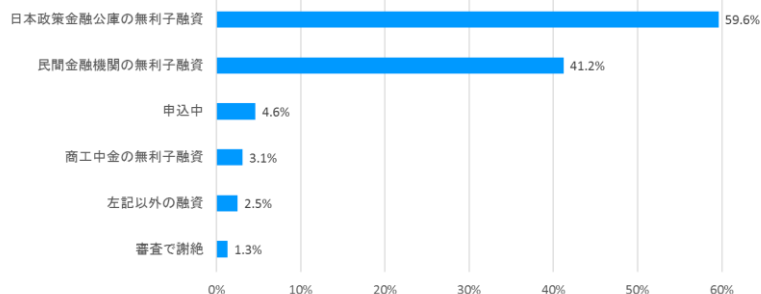
- ・融資に関する項目の満足度及び、情報提供に係る項目の満足度が高く、コロナ禍において、各金融機関の積極的な支援姿勢が窺える。
- ・融資手続についても、スムーズに行えたとの回答が多数となった。
- ・これまで取り組んできた地域密着型金融の推進により、コロナ禍においても適時適切な資金繰り支援が行われたことが窺える。



未来

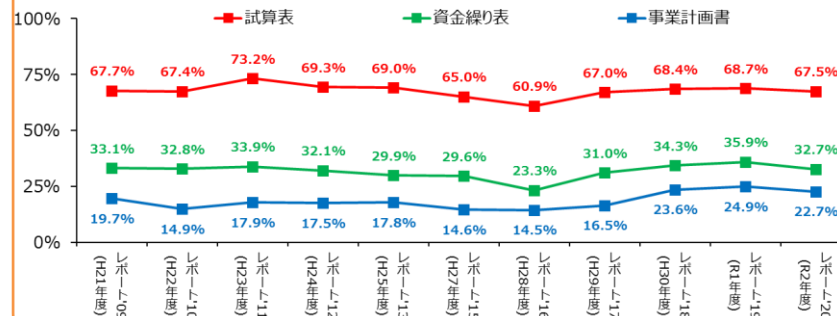
相互理解を深め、関係機関が一体となって経営支援等に取り組み、コロナ禍を乗り越えとともに、コロナ後を見据えた取り組みを進め、地域経済の早期回復を図る。

- ・今後は金融機関や関係機関が連携し、引き続き中小企業の経営状況の変化など、その実態を把握した上で、適切な経営支援を実施していく。



- ・中小企業は、「試算表」等について作成するなど、金融機関へ積極的に情報提供し、コミュニケーションの深化を図る。

試算表等の作成状況の推移 ③レポート14未調査



提言

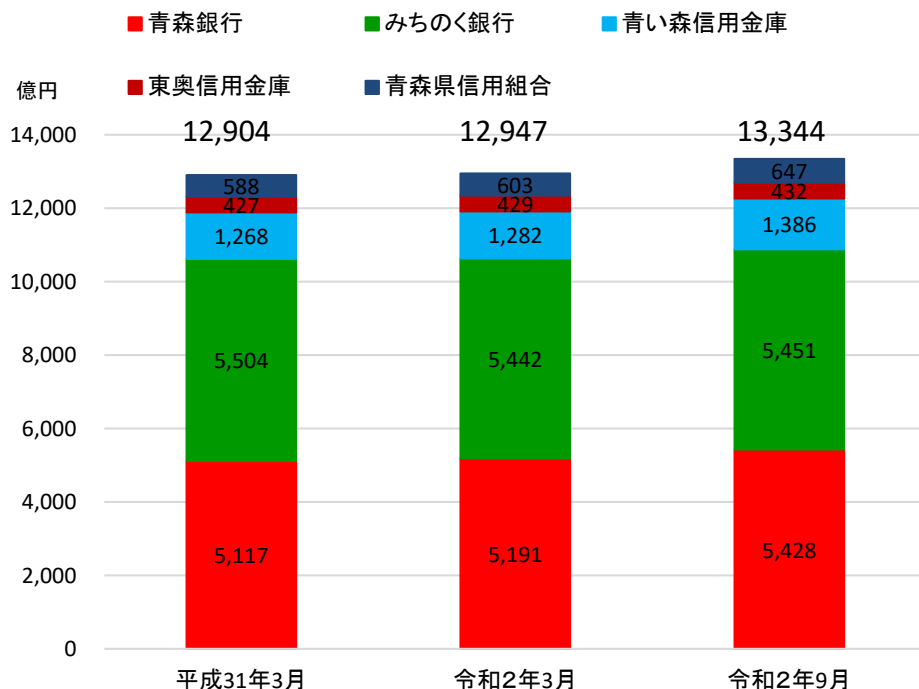
地域密着型金融の推進によりコロナ禍を克服した先の「選ばれる青森県」の実現へ向けて

Ⅶ 金融機関における資金供給等の状況

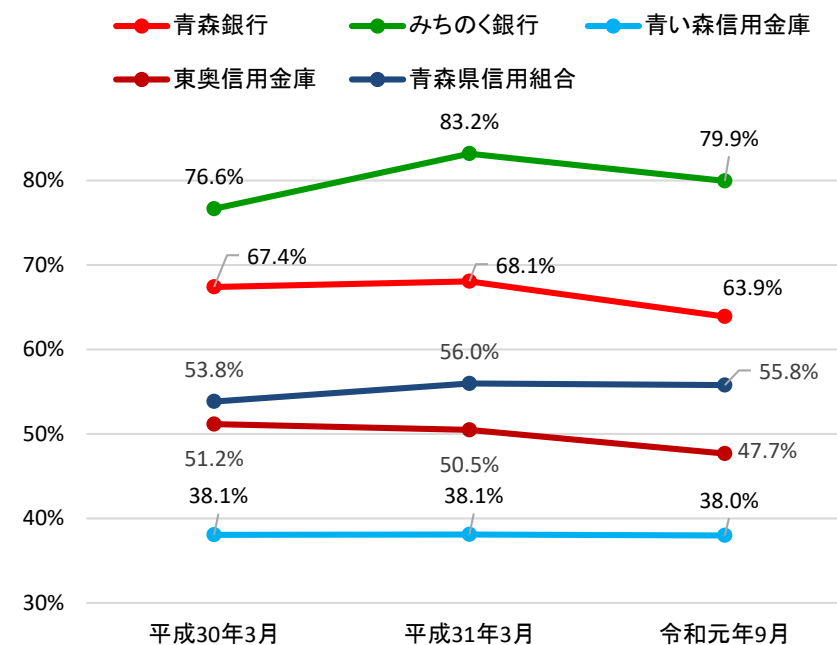
1 金融機関における資金供給の現状

- 県内金融機関における中小企業等向け事業性資金の貸出残高は、令和2年度に入り増加。
- 県内に本店を有する金融機関における預貸率は、横ばいか低下傾向で推移している。
- コロナ関連融資が増加した影響が窺える。

県内金融機関における中小企業向け
事業性資金の貸出残高の推移



県内金融機関における預貸率の推移



2 金融機関における多様な資金供給の状況

- 多様な資金供給の状況として、A B L や私募債、経営者保証ガイドラインの活用等の手法による資金供給の取扱いが進んでいる。

※県内に本店を有する金融機関の実績

種類	活用のメリット	直近(令和元年度～令和2年度上半期)の実績※												
A B L (動産・売掛金担保融資)	<ul style="list-style-type: none"> ・借り手にとっては、これまで担保としてあまり活用されてこなかった動産・売掛金担保を活用することにより、円滑な資金調達に資することが期待される。 ・金融機関にとっては、中小企業の動産・売掛金担保などを継続的にモニタリングすることを通じて、中小企業の経営実態をより深く把握することが可能となり、信用リスク管理の強化が期待される。 	<p>令和元年度 85件 164億円 令和2年度上半期 37件 107億円</p> <p>【担保動産の例】 機械設備、重機・工作機械、船舶、太陽光発電設備、木材・木質チップ、日本酒、水産加工品、肉牛、肉豚、りんご、米、小型風力発電 等</p>												
私募債 (少数・特定の投資家を対象に発行される社債)	<ul style="list-style-type: none"> ・中小企業にとっては、資金調達の多様化が図られるとともに、固定金利の長期安定資金を調達できるほか、毎月の返済がない（一括償還）場合もあり、返済計画に余裕が持てる、中小企業のイメージアップ、発行手続きが簡単などのメリットがある。 	<p>令和元年度 98件 95億円 令和2年度上半期 40件 52億円</p>												
ファンドを通じた出資	<ul style="list-style-type: none"> ・中小企業にとっては、資金調達の手段として重要な選択肢の一つであり、（融資のような）担保や返済期限利息の支払いがなく、ファンドの設立目的（創業、成長支援、新事業展開、事業再生等）達成に向けた経営上の支援も期待できる、などのメリットがある。 	<p>あおぎん地域貢献ファンド、地域経済エコシステム支援ファンド、東北6次産業化サポートファンド、FinTechビジネスイノベーションファンド、ジャフコS V 5 Aファンド、ALL-JAPAN観光立国ファンド 等</p>												
経営者保証ガイドラインの活用	<ul style="list-style-type: none"> ・経営者にとっては、一定の要件の下で経営者保証に過度に依存した融資慣行が改善され、思い切った事業展開や早期の事業再生などに取り組みやすくなる、などのメリットがある。 	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度上半期</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>新規に無保証で融資した件数 (ABL除く)</td> <td>5,488</td> <td>5,935</td> <td>4,476</td> </tr> <tr> <td>保証契約を解除した件数</td> <td>660</td> <td>617</td> <td>344</td> </tr> </tbody> </table>		30年度	元年度	2年度上半期	新規に無保証で融資した件数 (ABL除く)	5,488	5,935	4,476	保証契約を解除した件数	660	617	344
	30年度	元年度	2年度上半期											
新規に無保証で融資した件数 (ABL除く)	5,488	5,935	4,476											
保証契約を解除した件数	660	617	344											

3 経営改善支援の取組

- 経営課題を有する取引先中小企業を経営改善支援先と位置づけ、解決に向けて取り組んでいる。

	期初債務者数※	うち経営改善支援 取組先数 a※	うち期末に債務者区分が ランクアップした先数β※ (ランクアップ率 β/a)	うち再生計画 策定先数※
平成29年度実績	25,338	569	49 (8.6%)	266
平成30年度実績	25,554	613	39 (6.4%)	318
令和元年度実績	25,419	696	40 (5.7%)	388

※県内に本店を有する金融機関（メインバンク）の実績

4 セミナー・研修会・勉強会等の開催

- 県内の金融機関及び商工団体等において、中小企業の経営力強化等に向けて、経営や金融、補助金等の各分野をテーマとした勉強会・研修会・セミナー等が開催されている。

実施機関	県内金融機関・商工団体によるセミナー・研修会等（主なもの）
みちのく銀行	■【社会福祉法人向け】Webセミナー（テーマ：業績連動型の人事給与制度）
青い森信用金庫	■ 中小企業経営力強化研修会（青森・弘前・八戸会場） ■ 経営相談会（八戸・青森・十和田・津軽・弘前・下北地区） ■ あおもりスタートアップセミナー「起業して8年、失敗したこと・成功したこと」
東奥信用金庫	■ 中小企業経営力強化研修会（しんきん拠点研修会）弘前会場 ■ 中小企業財務セミナー
青森県信用保証協会	■ 個人事業者向け「創業者のためのオンライン税務セミナー」 ■ 創業向けセミナー「あなたのブランド力を高めるSNS活用術」 ■ 経営支援セミナー2020 ～ピンチをチャンスに！コロナ禍の事業創生に向けて～

実施機関	県内金融機関・商工団体によるセミナー・研修会等（主なもの）
青森商工会議所	<ul style="list-style-type: none"> ■ 今こそITを活用しよう！超初心者のためのウェブ会議・テレワークのはじめ方セミナー（YouTube配信） ■ 給付金等支援策解説セミナー～第2次補正予算で追加になった支援策を解説します～（オンライン ライブ配信） ■ 伴走型小規模事業者支援推進事業 事業計画策定支援セミナー ■ ウィズコロナ時代で企業に求められる労務管理の基本セミナー ■ 制度改正に伴う専門家派遣等事業 ～資金繰り改善・資金調達セミナー～ ■ 事業承継セミナー・個別相談会「貴重な経営資源を次世代に引き継ごう」 ■ 制度改正に伴う専門家派遣等事業 ～新しい生活様式への対応と、コロナ禍の経営の考え方・財務戦略～ ■ 経理の基本セミナー ■ BCP（事業継続計画）セミナー～有事の際の企業経営～ ■ あおもりスタートアップ支援セミナー（8回） ■ あお☆スタピッチ交流会 FINAL SELECTION 2020
弘前商工会議所	<ul style="list-style-type: none"> ■ 小規模事業者持続化補助金セミナー＜コロナ特別対応型＞ ■ 小規模事業者持続化補助金セミナー＜一般型＞ ■ セミナー：新型コロナウイルスの影響から会社や店を立て直す！ ■ 離職を防ぐ「ほめる気遣い」コミュニケーション術 ■ コロナ危機を乗り越える中小企業の資金繰り術 ■ 幸せ生活のためのマネー哲学 ■ リーダーへの道～自己と経営の統合による挑戦～
八戸商工会議所	<ul style="list-style-type: none"> ■ 創業・起業支援制度説明会・起業家座談会 ■ 経営安定セミナー／補助金活用セミナー ■ テレワーク営業革命 ■ これからの時代を生き抜くための経営の勘所 ■ 女性会／レディスマネジメント講習「PEPトークについて」 ■ 生産性向上セミナー／チャンスをつかむインターネットビジネス ■ 新入・若手社員フォローアップセミナー ■ 生産性向上セミナー／後輩指導力の向上と中堅ベテランの役割 ■ 店舗演出・空間の作り方セミナー ■ 緊急時に備える働き方改革・BCPセミナー ■ 青年部／経営力向上セミナー ■ 伴走型支援事業／事業計画策定セミナー ■ はちのへ女性創業スクール ■ 移住と起業・事業承継セミナー ■ 創業セミナー／ブランド力を高めるSNS活用術 ■ 青年部／経営力向上研修会勉強会 ■ 創業スクール ■ 事業承継セミナー
五所川原商工会議所	<ul style="list-style-type: none"> ■ 事業の未来を左右する総国民スマホ時代のSNS集客・売上アップ講座（配信のみ） ■ 「制度改正に伴う専門家派遣事業」を活用したセミナー（2回）
十和田商工会議所	<ul style="list-style-type: none"> ■ 制度改正に伴う専門家派遣事業 新しい生活様式の中でも売上UPにつなげる「店舗演出・空間の作り方」 ■ 制度改正に伴う専門家派遣事業 オンデマンドセミナー 軽減税率、インボイス制度、働き方改革、民法改正、雇用関係助成金関連 ■ ビデオ会議ツール Zoomを体験しよう！
むつ商工会議所	<ul style="list-style-type: none"> ■ 「事業継続支援セミナー」 ■ 「IT活用セミナー SNSで情報発信」 ■ 「働き方改革・生産性向上セミナー 働き方改革をめざして生産性を上げる！ 現場を強くする「トヨタの時短術」」 ■ 「WEBセミナー」（インターネットで視聴できる経営等に役立つセミナー）
青森県中小企業団体中央会	<ul style="list-style-type: none"> ■ 中小企業施策普及講習会（6市） ■ 組合等管理者講習会 ■ 決算・税務講習会 ■ 労務管理講習会
商工会連合会	<ul style="list-style-type: none"> ■ 伴走型支援推進モデル事業「経営計画策定セミナー」（7商工会） ■ 伴走型支援推進モデル事業「事業承継計画策定セミナー」（7商工会） ■ 伴走型販路開拓支援事業「新規事業者デザイン支援事業」（4社、延べ4回開催） ■ 下北地域小さな企業の商品・サービス等プロモーション事業（8社、延べ3回開催） ■ 業種別専門分野別講習会（県内7カ所で開催、テーマ：商品開発で経営力アップセミナー、BCP策定セミナー、コロナの時代を生き抜く！新しい生活様式への対応と支援策、事業者向けBCP）
中小企業再生支援協議会	<ul style="list-style-type: none"> ■ 金融機関セミナー 経営者保証ガイドライン（再チャレンジ制度について） ■ 青森県弁護士会向けセミナー 経営者保証ガイドライン（再チャレンジ制度について）

5 ビジネスマッチング支援

- 支援中小企業（取引先・経営支援先等）の販路開拓等に向けたビジネスマッチング支援が、関係機関との連携により実施されている。

県内開催	青森銀行	■台湾電子設備協会招請商談会 ■シンガポールバイヤー招聘商談会in八戸 ■ものづくり×ITマッチング商談会 ■令和2年度第一回国内バイヤー招請輸出商談会
	みちのく銀行	■台湾電子設備協会招請商談会 ■令和2年度第一回国内バイヤー招請商談会
	青い森信用金庫	■あおもり新商品商談会
	東奥信用金庫	■2020青森のうまいものバイヤーズナビ（Web商談会）
	弘前商工会議所	■津軽の食と産業まつり
	八戸商工会議所	■バイヤー招聘による個別商談会 ■新商品テストマーケティング支援事業
	青森県中小企業団体中央会	■原子力メンテナンスマッチングフェア2019 ■ものづくり受発注商談会あおもり2019
	青森県商工会連合会	■FOOD MATCH AOMORI 2020（あおもり食品展） ■国内バイヤー招請輸出商談会
県外開催	青森銀行	■愛銀ビジネス商談会 ■ものづくりマッチング商談会inベトナム ■ものづくりマッチング商談会in台湾（台中市） ■スーパーマーケット・トレードショー2020青森県ブース ■Umai!!Aomori Food Fair2019
	みちのく銀行	■Umai!!Aomori Food Fair2019 ■沖縄大交易会2019 ■ものづくりマッチング商談会inベトナム ■ものづくりマッチング商談会in台湾（台中市）
	青い森信用金庫	■2019よい仕事おこしフェア ■ビジネスマッチ東北2019 ■よい仕事おこしネットワーク（ビジネスマッチングサイト）
	東奥信用金庫	■2019よい仕事おこしフェア ■ビジネスマッチ東北2019
	青森県信用保証協会	■OSAKAビジネスフェアものづくり展2019
	青森商工会議所	■オリジナル商品開発WEEK 第2回地域産品店
	弘前商工会議所	■ギフトショー春2020
	八戸商工会議所	■消費地商談会 ■地域うまいもんマルシェ
	青森県中小企業団体中央会	■彩の国ビジネスアリーナ2020 ■スーパーマーケット・トレードショー2020
青森県商工会連合会	■沖縄大交易会（オンライン版） ■スーパーマーケット・トレードショー2020「青森県ブース」	

6 人材育成の取組

- 県内の金融機関及び商工団体において、目利き能力やコンサルティング能力の向上に向けて、事業性評価や伴走型支援等をテーマとした研修受講や資格取得が行なわれている。

青森銀行	<ul style="list-style-type: none"> ■ 法人 F A 養成 ■ 農業経営アドバイザー ■ JGAP指導員（青果物・穀物・家畜・畜産物） ■ 動産評価アドバイザー ■ 事業性評価アドバイザー ■ M&Aシニアエキスパート
みちのく銀行	<ul style="list-style-type: none"> ■ 法人営業研修 ■ 事業承継・M&A地区別業務研修 ■ 農業経営アドバイザー
青い森信用金庫	<ul style="list-style-type: none"> ■ 財務（基礎・中級）研修 ■ 事業性評価のための業種特性分析研修 ■ 本業支援のための事業性評価融資研修 ■ 渉外担当者クラス別研修 ■ 融資推進研修・事業性評価のための目利き力実践研修 ■ 融資担当者審査能力向上研修 ■ ミドルクラス実践力強化研修
東奥信用金庫	<ul style="list-style-type: none"> ■ 金融機関向け目利き力向上セミナー ■ 事業性評価講座
青森県信用組合	<ul style="list-style-type: none"> ■ 支援機関向け事業承継研修 ■ 知的財産活用情報交換会 ■ 金融機関向け目利き力向上セミナー ■ 審査業務トレーナー研修 ■ 若手職員フォローアップ研修
青森県信用保証協会	<ul style="list-style-type: none"> ■ 中小企業診断士 ■ 信用調査検定（ベシス・アドバンス・マスター） ■ 動産評価アドバイザー
青森商工会議所	<ul style="list-style-type: none"> ■ 経営指導員専門研修会
弘前商工会議所	<ul style="list-style-type: none"> ■ 複式簿記講習会 ■ 企業会計スキル向上研修会 ■ 経営安定対策事業研修会 ■ 経理担当職員研修会
八戸商工会議所	<ul style="list-style-type: none"> ■ 伴走型支援（BIZミル、決算書を使った経営分析①、決算書を使った経営分析②、経営支援のための記帳指導） ■ VISITはちのへ事業説明会 ■ 小規模企業共済・倒産防共済 制度内容と手続きについて
むつ商工会議所	<ul style="list-style-type: none"> ■ 支援担当者向け専門研修（事業承継・廃業支援の進め方） ■ 支援担当者向け専門研修（創業の進め方）
青森県中小企業団体中央会	<ul style="list-style-type: none"> ■ 中小企業支援担当者等研修 ■ スキルアップ研修会
青森県商工会連合会	<ul style="list-style-type: none"> ■ 第1回、第2回商工会職員（経営指導員）研修会 ■ 第1回、第2回、第3回商工会職員（主事）研修会 ■ パソコン研修会 ■ 第2回商工会職員（主査）研修会 ■ 基礎研修「税務財務診断」 ■ 基礎研修「経営診断基礎」 ■ 専門研修
県内金融機関・商工団体共通	<ul style="list-style-type: none"> ■ インキュベーション・マネージャー（IM）養成研修

7 県内金融機関・商工団体等における特徴的な取組

- 金融機関と関係機関との連携や、商工団体における創業支援に向けた取組など、支援機関のコンサルティング機能の強化が図られている。

青森銀行	<p>【シンガポール企業との商談事業】 JETRO青森と共催のもと、2020年1月に八戸市にて招聘商談会を、8月にオンラインでの商談を実施。当行独自の海外向け商談会は初の取組み。</p> <p>【コロナ対策の取組み】 コロナ禍で影響を受けている事業者等の支援のため、クラウドファンディングプロジェクト組成（「ねぶた師が願いを込めて描く百鍾馭」、「青森県の高校野球応援プロジェクト」、「ねぶた師合作”特別ねぶた”を作りたい！」）、Instagram「AOMORI♥HIKE #あおもりを笑顔にしよう」による取引先PR、「#あおぎんエール飯」プロジェクトによる飲食事業者支援を実施。</p>
みちの銀行	<p>【地方創生に関する取組】 歴史文化分野の地域資源を生かした地域おこしの活動を行っているNPO法人十和田歴史文化研究会が主催する「新渡戸十次郎生誕200年記念大会」（三本木原開拓）、古道フォーラム（霊山十和田・十和田古道）において、産学官の有識者とともに講演、議論、提言を行った。十和田湖畔休屋は、もともと修験者や参詣者が宿泊した場所が語源となっており、古道の目的地である十和田神社まで続く休屋の杉並木は霊山十和田として栄えた往時を偲ばせ、観光誘客の新たな誘因として期待されている。</p>
青い森信用金庫	<p>【地方創生に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 県内地方公共団体との連携協定締結・2020年3月10日 板柳町 板柳町認知症高齢者等地域見守りサポート事業 ■ 外部機関との連携協定・2020年9月16日 「(株)まちづくり八戸」との包括的連携協定締結 <ol style="list-style-type: none"> ①八戸市中心市街地の活性化に関する企画・調整・相談への対応に関する事項 ②両者が有するネットワークを活用した地域産業振興支援に関する事項 ③両者が企画提案する各種補助・助成金、資金調達支援に関する事項 ④その他、地域の活力創出、将来の豊かな市民生活の実現に必要な事項 <p>【地域中小企業支援に関する取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 創業支援への取組 <ul style="list-style-type: none"> ・2020年1月29日 青森商工会議所・青森市との連携により創業支援を目的とし、「あおスタ（スタートアップ支援セミナー）」を開催 ・2020年3月13日 (株)CAMPFIREとのクラウドファンディングマッチングサービス業務提携により、創業先飲食業の資金調達支援を実施
東奥信用金庫	<p>【経営力強化研修会（しんきん拠点研修会）】</p> <p>青森県信用金庫協会が主導し、中小零細企業に対する、人材育成・新商品開発・販路拡大等本業支援に於ける課題解決を図ることを目的に、当金庫と青い森信用金庫が各関連機関との連携および専門家の協力を得て研修会を開催している。例年、青森・八戸・弘前の3会場で各5回の年間15回の開催され、元年度年間県全体の累計参加者数1,008名、令和2年度上期末時点で162名の参加者数となっている。</p> <p>研修会出席企業における各商談会等出展時の成約率高く、商品の完成度を含め、バイヤー等から高い評価を得ている状況にある。</p>

青森県信用組合	<p>【創業支援への取組み】 青森市および青森商工会議所と提携し、「あおスタ（スタートアップ支援セミナー）」を開催。</p>
青森県信用保証協会	<p>【外部機関との持続的成長に向けた取組（覚書締結）】 令和2年4月30日にT K C東北会青森県支部と「中小企業・小規模事業者の持続的成長支援に関する覚書」を締結した。 【女性創業チーム「Ailebranche（エールブランシェ）」発足】 令和2年7月1日に起業を目指す女性を応援するための「女性支援チーム」を発足した。</p>
青森商工会議所	<p>【コロナウイルス感染症拡大への対策事業】 青森商工会議所では、令和2年1月29日に新型コロナウイルスに関する経営相談窓口を設置し、融資相談や各種補助金の申請などについて対応した。また、売上の落ち込む管内の事業者への支援策として、関係機関と連携を図り、「テイクアウトをはじめめる飲食店のPR支援」、「タクシーによるお買い物代行サービス」、「緊急在庫マーケット」、「ヒト・モノ・コト情報広場」、「みらい飯（クラウドファンディング）」、「プレミアム商品券発行」事業等を実施している。 【AOMORI STARTUP CENTER 運営】 平成30年に、青森商工会議所が整備した「AOMORI STARTUP CENTER」では、起業創業をはじめとするイベントやセミナー、ワークショップが開催されているほか、青森市の「あおもり地域ビジネス交流センター」も移転し、起業創業支援の専門家（IM）が常勤している。また、弁護士、社会保険労務士、中小企業診断士、税理士などによる無料相談会を開催しているほか、事業引継ぎセンターの相談窓口、よろず支援拠点の駅前サテライトとして機能している。 【創業支援メンター事業】 県内全域での創業支援の充実強化を図るため、メンター（創業支援に前向きな経営者、先輩起業家）を顕在化し、創業希望者または創業して間もない者とのマッチング・面談の実施やネットワーク構築につながる交流会を行った。</p>
弘前商工会議所	<p>【弘前商工会議所事業活動持続チャレンジ応援補助金】 30万円上限、補助率9/10（小規模事業者）で、幅広い用途に使える補助金事業。書類はできるだけ簡略化し、スピード感を重視して実施</p>
八戸商工会議所	<p>【包括的連携協力に関する協定】 大規模地震等災害時の相互支援及び産業、観光、文化等の発展と地域経済活性化の推進における包括的連携協力協力締結先：藤沢商工会議所（神奈川県）、いわき商工会議所（福島県）、高山村商工会（群馬県） 【新型コロナウイルス対応特別経営相談会】 施策の情報提供や融資制度、雇用についての専門家相談会</p>
青森県中小企業団体中央会	<p>【創業支援（ひろさきビジネス支援センター）】 創業・起業を目指す市民や、地域で事業を営んでいる方などに対し、経営等に関する相談、各種産業情報の提供並びに交流の場を提供することにより、地域経済の活性化を図る（弘前市からの業務委託）。 【新しい生活様式対応組合等支援補助金】 新しい生活様式に対応した商品・サービスの提供や、長期にわたる自粛生活による購買意欲の低下・外出への不安を払拭する取組など、組合等が行う新型コロナウイルス感染症の影響を乗り越えるための取組を支援し、減退した地域や業界の活力を呼び戻し、活性化を図る。</p>
青森県再生支援協議会	<p>【新型コロナウイルス特例リスケジュール開始】 新型コロナウイルスの影響があり、売上減少等により資金繰りが厳しくなっている企業に対する、1年間のリスケジュール支援</p>